

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|------------------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 1 | ①食料品の物価高騰に対する特別加算 | R7特別デジタルクーポン事業(事業費) | ①長引く物価高の影響により、市内経済・市民の生活環境は依然深刻である。したがって、市内に本社・本店を置く事業所・店舗等の加盟店舗で利用可能なデジタルクーポン(地域通貨ポイント)を市民1人当たり15千円分付与し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民への支援及び市内経済振興を図る。現金の支給には非該当。 ②負担金・補助及び交付金 ③負担金・補助および交付金309,525千円(15千円×人口20,635人)のうち、246,767千円に交付金を充当 ④市内の中小企業等・市民 | R8.2 | R8.3 |
| 2 | ③消費下支え等を通じた生活者支援 | 養父市住宅等防犯対策補助事業 | ①物価高騰の影響を受けた、地域を犯罪から守る活動を行う市内の約65%を占める高齢者世帯に対し、安心安全に生活できるよう家庭の防犯用品購入に対し補助を実施し、一般家庭における防犯力強化を図る。 ②補助金及び事務費(消耗品費及び印刷製本費) ③補助金 6,517千円(約651件)上限1万円、対象経費5千円以上のものに対し2分の1の額(100円未満切り捨て)を補助 事務費 134千円(消耗品費100千円、印刷製本費34千円) ④65歳以上の高齢者がいる世帯(5,882世帯) | R7.4 | R8.3 |
| 3 | ③消費下支え等を通じた生活者支援 | 養父市地域防犯力強化事業 | ①物価高騰の影響を受けた、地域を犯罪から守る活動を行う地域(生活者)に対して地域防犯力を強化するため地区設置の防犯カメラについて補助を実施し、地域の防犯力強化を図る。 ②負担金・補助及び交付金、消耗品費 ③負担金・補助及び交付金 3,800千円 カメラ本体のみは上限80千円、自立柱設置分は上限140千円 カメラ本体のみ @ 80千円×30地区=2,400千円 カメラ+自立柱 @ 140千円×10地区=1,400千円 消耗品費100千円 ④市内154地区中、まだ防犯カメラを設置していない131地区 | R7.4 | R8.3 |
| 4 | ④省エネ家電等への買い換え促進による生活者支援 | 養父市省エネ住宅促進事業 | ①省エネ性能の高い新築住宅の建設や、既存住宅の開口部の断熱改修、高効率の給湯器の買い替えに対する支援を行うことで、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民を支援する。また、市内事業者から導入したもののみを対象とすることで、物価高騰で低迷する市内経済の循環を活性化を図る。 ②補助金 ③(1)新築 5件×400千円=2,000千円 (R6実績 5件)(2)改修 80件×63千円※=4,800千円 ※満額1/5とした場合のR6事業の市補助金交付額(R6実績 76件)(3)給湯【国補助上乘せ】40件×200千円×1/4=2,000千円 (R5省エネ家電事業での実績 39件)【石油・ガス】30件×定額50千円=1,500千円 (R5省エネ家電事業での実績 29件) ④市民 | R7.4 | R8.3 |
| 5 | ③消費下支え等を通じた生活者支援 | デジタルクーポン事業 | ①長引く物価高の影響により、市内経済・市民の生活環境は依然深刻である。したがって、市内に本社・本店を置く事業所・店舗等の加盟店舗で利用可能なデジタルクーポン(地域通貨ポイント)を市民1人当たり4千円分付与し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民への支援及び市内経済振興を図る。現金の支給には非該当。 ②委託料・負担金・補助及び交付金 ③・委託料1,400千円(事務費等) ・負担金・補助および交付金85,428千円(4,000円×人口21,357人)※人口21,057人+追加発行分約300人 総事業費86,828千円のうち、63,963千円に交付金を充当 ④市内の中小企業等・市民 | R7.4 | R7.8 |
| 6 | ③消費下支え等を通じた生活者支援 | 追加デジタルクーポン事業 | ①長引く物価高の影響により、市内経済・市民の生活環境は依然深刻である。したがって、市内に本社・本店を置く事業所・店舗等の加盟店舗で利用可能なデジタルクーポン(地域通貨ポイント)を市民1人当たり2千円分付与し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民への支援及び市内経済振興を図る。現金の支給には非該当。 ②負担金・補助及び交付金 ③負担金・補助および交付金42,028千円(2,000円×人口21,014人)のうち、15,952千円に交付金を充当 ④市内の中小企業等・市民 | R7.10 | R8.3 |
| 7 | ⑦医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援 | 社会福祉施設物価高騰対策給付金事業 | ①原油価格・物価高騰の影響から、介護保険サービスや障害(児童)福祉サービスの提供にかかる電気・ガス代等が上昇しており、事業所運営が厳しい状況にある。緊急的な支援として一定の補助を行い、市民への安定的なサービス提供を確保する。 ②負担金・補助及び交付金 ③負担金・補助および交付金 合計9,957千円 入所系サービス事業者① 7施設 2,354千円 入所系サービス事業者② 8施設 4,480千円 通所系サービス事業所 22施設 2,849千円 訪問系サービス事業所 20施設 274千円 ④市内の入所・通所・訪問系サービス事業者 | R8.2 | R8.3 |

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|--------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 8 | ④消費下支え等を通じた生活者支援 | 追加地域防犯力向上事業 | ①物価高騰の影響を受けた、地域を犯罪から守る活動を行う地域(生活者)に対して地域防犯力を強化するため地区設置の防犯カメラについて補助を実施し、地域の防犯力強化を図る。 ②負担金、補助及び交付金 ③負担金、補助及び交付金 合計1,600千円(80千円×20地区) ④市内の新たに防犯カメラを設置する20地区 | R8.2 | R8.3 |
| 9 | ④消費下支え等を通じた生活者支援 | 水道基本料金負担軽減対策事業(R8年3月検針分) | ①物価高騰の影響を受けた市民等の経済的負担を軽減し、市民の暮らしや産業を支える。生活に不可欠な水道(料金)について、市民及び事業者を対象に水道料金の基本料金を免除する。 ②減免にかかる費用(繰入金) ③減免にかかる費用 合計 19,000千円 R8年3月検針分 約10,000件 ④全世帯及び事業者(公共施設を除く) | R8.3 | R8.3 |
| 10 | ⑧農林水産業における物価高騰対策支援 | 酪農経営継続支援事業 | ①価格高騰のなか、乳価が飼料価格に追いついていない状況が続く、酪農農家の経営を圧迫していることから、酪農農家の経営継続をするため、乳価が飼料価格に追いついていない分を補助するための補助金を給付する。 ②補助金 ③補助金 合計 7,200千円 1頭当たりの補助金30千円×畜産農家4件が保有する乳牛合計240頭 ④市内の畜産(酪農)農家4件 | R8.2 | R8.3 |
| 11 | ①食料品の物価高騰に対する特別加算 | 追加デジタルクーポン事業(追加充当) | ①長引く物価高の影響により、市内経済・市民の生活環境は依然深刻である。したがって、市内に本社・本店を置く事業所・店舗等の加盟店舗で利用可能なデジタルクーポン(地域通貨ポイント)を市民1人当たり2千円分付与し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民への支援及び市内経済振興を図る。現金の支給には非該当。 ②負担金・補助及び交付金 ③負担金・補助および交付金42,028千円(2,000円×人口21,014人)のうち、26,076千円が対象経費 ④市内の中小企業等・市民 | R7.10 | R8.3 |
| 12 | ①食料品の物価高騰に対する特別加算 | 自治体DX推進事業 | ①長引く物価高の影響により、市内経済・市民の生活環境は依然深刻である。したがって、市内に本社・本店を置く事業所・店舗等の加盟店舗で利用可能なデジタルクーポン(地域通貨ポイント)を市民1人当たり15千円分付与し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民への支援及び市内経済振興を図る。現金の支給には非該当。 ②手数料、会計年度任用職員費等 ③手数料、会計年度任用職員費等 合計3,984千円 ポイント発行手数料(発行額:309,525千円ー100,000千円)×1.2%=2,515千円 会計任用職員費 1名×6か月 1,375千円 QRコード用スタンド等 50千円 説明会費用 22千円×2回=44千円 ④市内の中小企業等・市民 | R8.2 | R8.3 |
| 13 | ①食料品の物価高騰に対する特別加算 | R7特別デジタルクーポン事業(事務費) | ①長引く物価高の影響により、市内経済・市民の生活環境は依然深刻である。したがって、市内に本社・本店を置く事業所・店舗等の加盟店舗で利用可能なデジタルクーポン(地域通貨ポイント)を市民1人当たり15千円分付与し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民への支援及び市内経済振興を図る。現金の支給には非該当。 ②郵券料・委託料 ③郵券料・委託料 合計 2,386千円 郵券料 986千円(普通郵便@110円×8,961世帯) 委託料 1,400千円(事務費等) ④市内の中小企業等・市民 | R8.2 | R8.3 |